



健康医療産業集積事業の実現に向けた取り組み

佐藤 淳一

問 岩沼市復興プロジェクト、健康医療産業集積地（健幸サイエンスパーク）のコンセプトについて伺う。

市長 希望の持てるような雇用の場の確保と新しい産業を創出するのが大きな狙いです。集団移転地の皆さんが孫子の代まで定着し、そして千年先までも住み続けてもらうことを考え、復興計画でも提案されています。

問 相野釜、矢野目、両地区住民の希望と意思が入っている、県の仙台空港臨空都市整備基本計画（平成8年策定）とどのように整合性をとっていくのか伺う。

市長 基本計画の中で矢野目西地区は、国際物流拠点地区とされています。一定面積があるので、状況に応じて、まず医療関係、あるいは物流拠点という形で進めたいと思います。

問 復興交付金（効果促進事業）事業であることから、具体的に誘致企業を決定し、開発手続に入っていくべき時期にもう来ているのではないかと考えるがどうか。

市長 できるだけ早く具現化をしたいということ、できれば、1社でも2社でもと思います。

岩沼モデルの世界発信を

問 これまで岩沼市は、健康で長生き、そして誰もが幸せを実感できるまちづくり、健幸先進都市の実現を市政運営の目標に掲げてきた。矢野目西地区においては、これまで蓄積された経験やデータを生かして、岩沼発の健幸先進産業の育成、モデルの世界発信を行っていくべきであると考えられているが、

市長 早く企業に立地してもらい、それに加えて、アントレプレナー（起業家）、インキュベーター（起業支援者）を、育てる場も、いずれかの時点でつくるような工夫を凝らしていかなければならないと思います。



貞山運河の景観活用

布田 恵美

問 宮城県の計画で貞山運河堤防かさ上げ工事が行われるが、見解を伺う。

市長 貞山堀自体が歴史的な遺産であると同時に景観を生かし、残す役割も含めて県には責任を持って改修してもらうことを市として注文もつけています。

問 新浜地区で約180本のクロマツが残っているようだが、改修計画で伐採はあるのか。

建設部長 枯死状態のものは状況により対応、施工段階については市と（県が）連携をとりながら進めると聞いています。

問 枯死以外、伐採するものはないのでか。

建設部長 災害復旧事業の中で松並木の保全というように県で位置付けており、寺島橋付近までは何とか残したい、と聞いています。

問 今日の治水、河川改修技術の知恵を絞り保全と治水の調和、共生を再検討すべきではないか。

市長 再生、そして防御ということから、これまでの景観や歴史に配慮をした形で進めてもらえる

と思います。

遊水池として活用検討を

問 貞山運河隣接地の沈下した湿地、水田などを遊水池活用として検討できないか。遊水池としての活用があれば水鳥の飛来、環太平洋の渡り鳥の飛来地として生物多様性の宝庫の可能性も指摘されている。

市長 非常にいい視点だと思えます。ただ国の費用で県が五間堀川の改修を進める上での計算です。別次元で考えざるを得ません。岩沼としていろいろな可能性があるので、十分注目をして、市としても対応していかなければならないと思います。

問 国に答申が出されている武隈の松とともに私たちの財産の貞山運河、その観光資源活用についての考えはどうか。

市長 岩沼市民がまず知って、市外の人にも知っていただき、アイデアを出して具現化して岩沼の魅力、発信する大きな手掛かりになると思います。